



令和3年度 習志野市立東習志野小学校 教育の全体構想

【学校教育目標】未来を開拓し、主体的に行動する、心豊かな子供の育成

【子供の実態】 近隣には市総合教育センター、市立高校、中学校、こども園、図書館、コミュニティセンターといった施設があり、学校内には多種多様な樹木や池、田んぼなど豊かな自然が整えられている。恵まれた環境の中で、児童は様々なことに興味をもち、学習や運動に取り組んでいる。また、好奇心旺盛で、小さなことにも感動したり、素直に自分の思いや考えを表現したりするなど、元気で活発である。このような児童のよさを生かし、興味や好奇心が問題意識に高まるまで根気強く取り組む力を育み、学び方を身に付けさせることで、可能性が広がる児童である。

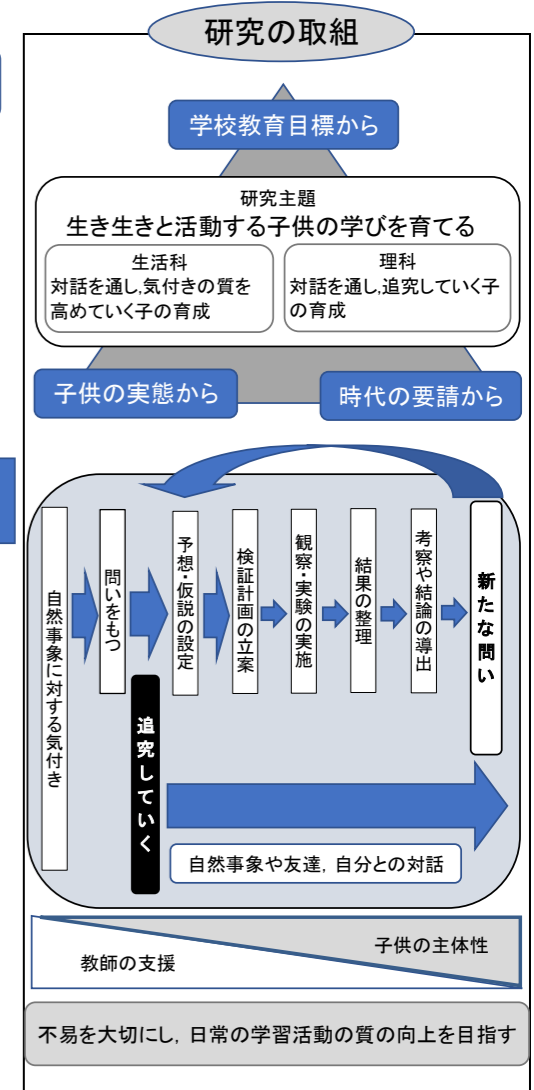
目指す学校の姿

＜知＞学び合う意欲あふれる学校

＜徳＞明るく思いやりあふれる学校

＜体＞運動に親しみ活力あふれる学校

目指す子供の姿 資質・能力	確かな学力 自ら問題意識をもって考え、共に学び合う子	豊かな心 相手の立場になることができる、思いやりのある子	健やかな体 運動に親しみ、体を鍛える子
①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・読み、書き、計算、実験・観察などの基礎的な技能が身に付いている。 ・話し合いの視点を明確にしたり、自分の考えをもって参加したりするなど、学習を深めるための話し合いのポイントを理解している。 ・様々な情報の中から必要な情報を選択したり、情報を比較したりして、まとめる技能が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がいろいろな人に支えられていることを理解している。 ・人によって、感じ方や考え方は一つではなく多様であることを理解している。 ・自分の行動が相手にどのような影響を与えるか理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きや技能を身に付けている。 ・特性に応じた各種の運動を行うことができる。 ・身近な生活における健康、安全について理解している。
②思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げることができる。 ・物事の特徴や相互の関連、意味を多角的に捉えることができる。 ・問題を把握して、その解決に向けて関わり方を選択・判断したり、それらを表現したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を自分事として考え、多面的な見方をして判断することができる。 ・相手を思いやった言葉かけができる。 ・相手のためになると判断して行動にすることができる。 ・自分の思いや考えを相手に伝えるために、相手に合わせた伝え方を選択することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動や健康についての自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 ・自分の課題に合わせて、適切な運動や練習方法を選択することができる。 ・自己やチームの課題解決のために、仲間と見合って助言し合ったり、相談して作戦を考えたりすることができる。
③学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書をし、思いや考えを伝え合おうとすることができる。 ・人との関わり合いの中で学ぶことの大切さを理解し、進んで話し合いの場を作ろうとすることができる。 ・学ぶことの意義を理解し、自らめあてをもって学習に取り組むことができる。 ・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学校生活を送るために、自分にどんなことができるのか考えて行動できる。 ・自分だけでなく、周りの人の幸せも実現しようと努力できる。 ・仲間を認めたり励ましたりして、支え合って生活することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営むことができる。 ・最後まであきらめずに、自分に合った運動に取り組むことができる。 ・仲間と協力し、支え合いながら運動に親しむことができる。



社会に開かれた教育課程 “よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”

